

湯来地域における小中一貫教育校設置検討会議について

1 設置目的

将来にわたって湯来地域に小学校・中学校を存続させ、子どもたちに質の高い教育を提供し続けるとともに、地域住民による主体的なまちづくりを実現していくため、湯来地域の全ての小学校・中学校を1校に統合し、小中一貫教育を行う学校を設置すること等について提言した「湯来地域における小学校・中学校の在り方に係る提言書」の内容の具現化に向けて、湯来地域としての意見を取りまとめるとともに、市や教育委員会等の関係部署との窓口となる。

2 地域の意見を取りまとめる内容

「湯来地域における小学校・中学校の在り方に係る提言書」の提言事項に係る具体的な取組やその進め方について

3 検討の視点

会議における議論が、子どもたちの幸せとまちの活性化につながるものとなるように、次の4つの視点に留意して検討を進める。

- (1) 個人的な価値観や居住する地区の利便性等に捉われることなく、湯来地域全体のことを考える。
- (2) 現在の状況だけでなく、10年後、20年後の子どもたちにとっても質の高い教育が受けられる環境を考える。
- (3) 学校の教育機関としての機能だけでなく、地域コミュニティの核としての機能についても考える（地域活性化、地域住民の交流、子育て支援等）。
- (4) 批判や否定をするだけでなく、代替となる案を提案するなど、前向きな議論をする。

4 当面のスケジュール(予定)

11月14日 第1回設置検討会議

以降、2～3か月に1回程度開催し、概ね1年後を目途に、上記2の内容を取りまとめる。